

事業計画書

事業名	なかよしふうふを目指す子供たちを増やす事業
団体名	理想の家族形成を支援する Family 1st 松戸支部

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ (課題)</p>	<p>社会の激しい変化により、少子化、晩婚化、生涯未婚率や離婚率が増加している。</p> <p>人口動態統計によれば日本においては親の離婚を経験した未成年者は昭和45年にはおよそ18人に1人であった。これが昭和60年には10人に1人、平成20年には5人に1人以上となり大きく増加している。</p> <p>さらに、たとえ離婚せずとも親が不仲な家庭環境で育つ子供を加えると、円満な夫婦を両親に持つ子供は現在半数以下に過ぎないとの説もある。</p> <p>一方で、生涯未婚率を見れば昭和45年には1%台であったのが、平成2年には5%台と増加し、これが平成21年にはなんと20%を超え、今後もさらなる増加が見込まれている。</p> <p>不仲な両親の姿を見て育つ子供の増加と生涯未婚率の増加には明らかな相関関係があり、最も身近な夫婦である両親の関係が子供の結婚願望に大きく影響している。</p> <p>私たちは現在、この負の連鎖を断ち切るために「なかよしふうふを増やす活動」をしているが、「結婚するメリットを感じない」「なかよしふうふって何が良いの?」という声を実際耳にしている。</p> <p>家庭環境が健全でない環境下で育った人が多い現代では、全く私たちの声が届かないのが現状である。</p> <p>そのため、松戸市の子供たちになかよしふうふの良さを伝えていく必要がある。</p> <p>〈我々が考えるなかよしふうふの定義とは、どちらか一方ではなく夫婦がともに満足度の高い結婚生活を送っていることである。そのことを示す指標のひとつとして「配偶者満足度」を重視している。(これはサービス業において「顧客満足度」を重視するのと同様である) 配偶者満足度において、配偶者の各々の自己評価よりも配偶者の相互評価が低い場合は結婚生活が破綻しやすく、高い場合は夫婦が円満な傾向があることが知られている。(詳しくはセミナーでご説明しています。こうしたことを周知すること自体が私たちの活動です)〉</p>
<p>事業の目的</p>	<p>子供たちに結婚生活に対して良いイメージをもってもらうこと。そして、自分も将来はなかよしふうふになりたい! どうしたらなれるの? と関心や憧れをもってもらい、なかよしふうふを目指す子供たちを増やすこと。</p>

事業内容

1 事業内容

① なかよしふうふエピソードの募集

市内の小中学生から「お父さんお母さんが仲良しで良かったこと」のエピソードを募集する。
 広報まつどに掲載依頼や市内の学校や学童保育所や児童館などにチラシを設置してもらうなど依頼場所を検討する

② 講演会と募集したエピソードの発表授賞式を開催

募集したエピソードの中から厳選したものを子供たちに発表してもらい授賞式を行う。また、夫婦円満のメリットや、子供をなかよしふうふに導くための進路アドバイスなどを伝えるために、子供だけでなく家族や一般市民も参加できる講演会を開催する。
 なお、講演会終了後、会場にてアンケートを実施し、自分もなかよしふうふを目指したいと思う人がどれくらいいるのかを調べる。

③ 小冊子作成、配布

厳選したエピソードの内容を小冊子としてまとめたものを市内のいくつかの小中学校や児童館などに配布する。（同時にWebサイトでも公開する）

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
7～8月	エピソード募集	市内の小中学生を対象にエピソード募集（学校に募集依頼）
9月	エピソードの選考 発表授賞式の準備、周知	エピソードの選考後、発表者として依頼 広報まつどに掲載他、各種PR
10月	発表授賞式開催 アンケート実施後集計	アンケート集計
11月	小冊子作成、印刷	編集作業（印刷は業者に依頼）
12月	小冊子配布	学校や公共施設にて配布
1月	ふりかえり	事業のふりかえり

事業の目標

会場アンケートにて「私もぜひなかよしふうふを目指したい」を80%
 小冊子配布数: 1,000部

今後の展望

今回の事業をきっかけに、より多くの子供たちに周りの大人たちも巻き込んで、円満な夫婦について考え、そして、どうしたらなれるのかと興味や関心や憧れを持ってもらい、自らの家族形成に明るい未来を描く人々を増やしていきたい。
 普段の私たちは、あくまでなかよしふうふを目指している人々に対して、どう行動したら理想の相手を探せるか？どう相手を選んだら良いか？どう行動したら円満な関係を継続し続けることができるかを伝えてなかよしふうふを増やす活動をしています。つまり私たちは、なかよしふうふを目指している人に対してであれば、受益者負担でサービスを提供して支援できるのです。ですから、本事業の成果としてなかよしふうふを目指している人を増やすことさえできれば、あとは私たちの手でなかよしふうふそのものを増やすことができるのです。

(第6条関係)

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	Family1st松戸支部拠出金	¥ 87,400	対象事業費の一部及び対象経費を団体の会計より拠出
		自己資金の合計額 (A)	¥ 87,400
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 187,400	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 30,000	広報チラシの印刷代 30円 * 1,000部
		¥ 80,000	小冊子の印刷代 80円 * 1,000部
	使用料	¥ 10,800	会場使用料 10,800円 (3.5時間)
		¥ 320	講師控室使用料 320円
	賃借料	¥ 5,000	音響機材使用料 5,000円
	消耗品	¥ 2,000	チラシ用紙 2円 * 1000枚
	通信費	¥ 6,780	小冊子配送料 1,130円 * 6箇所
		対象経費の合計 (D)	¥ 134,900
その他経費	報償費	¥ 50,000	内部講師謝礼
	食糧費	¥ 2,500	スタッフの昼食代 500円 * 5人
		¥ 52,500	その他経費の合計 (E)
合計額 (F) = (D+E)		¥ 187,400	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。